

事 務 連 絡
令和4年 10 月 5 日

保健体育課総括課長 }
学事振興課総括課長 } 様

県民くらしの安全課総括課長

野鳥での高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う動物園等における高病原性鳥インフルエンザへの対応について

このことについて、環境省自然環境局総務課動物愛護管理室長から別添のとおり事務連絡がありましたので、御了知の上、関係機関への周知についてよろしくお願いします。

なお、学校で飼養されている鳥類（家きんを除く）において、連続して複数の鳥が死ぬなど異常死を発見した場合については、「学校等で飼育されている鳥が死亡した場合の取扱について」（平成16年2月20日、文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課、厚生労働省健康局結核感染症課、農林水産省消費・安全局衛生管理課）に基づき対応いただくよう併せてお願いします。

【食の安全安心担当 遠藤 内 5323】

事 務 連 絡
令和 4 年 9 月 29 日

都道府県・指定都市・中核市
動物愛護管理主管部（局）長 殿

環境省自然環境局総務課
動物愛護管理室長

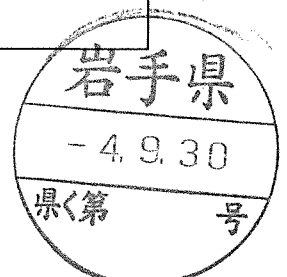
野鳥での高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う動物園等における
高病原性鳥インフルエンザへの対応について

動物愛護管理行政の推進につきましては、日頃から御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今般、神奈川県伊勢原市で令和 4 年 9 月 25 日（日）にハヤブサ 1 羽の衰弱個体が回収され、遺伝子検査を実施したところ、同年 9 月 29 日（木）に高病原性鳥インフルエンザウイルス（H 5 N 1 亜型）が検出された旨の報告がありました。本事例は、今シーズンで一例目の、野鳥における高病原性鳥インフルエンザ確認事例となり、このことを受け、野鳥サーベイランスにおける全国の対応レベルが「レベル 2」に引き上げられました。

動物園等における高病原性鳥インフルエンザへの対応については、平成 29 年 11 月 9 日付け環自総発第 1711091 号「動物園等における飼養鳥に関する高病原性鳥インフルエンザへの対応指針の改訂について」で通知した「動物園等における飼養鳥に関する高病原性鳥インフルエンザへの対応指針」の「Ⅰ 1. 動物愛護管理主管課」、「Ⅱ 2. 国内発生時の対応：全国での野鳥監視体制対応レベル 2 若しくは 3」等に基づき、高病原性鳥インフルエンザウイルスの早期発見、ウイルスの拡散防止・防疫措置等について万全を期して頂くとともに、高病原性鳥インフルエンザにかかる情勢の変化がみられた場合には、速やかに下記担当までお知らせいただくようお願いいたします。

環境省 自然環境局 総務課 動物愛護管理室
電話：03-3581-3351 FAX：03-3508-9278
担当：田口（内線 6654）、串田（内線 7412）
直通：03-5521-8331
緊急連絡先：090-1042-4354





環境省報道発表

令和4年9月29日（木）

野鳥における高病原性鳥インフルエンザ発生状況について （陽性確定 神奈川県伊勢原市（野鳥国内1例目））

<神奈川県同時発表>

1. 神奈川県伊勢原市で令和4年9月25日（日）にハヤブサ1羽の衰弱個体が回収され、その後死亡。同年9月26日（月）に簡易検査を実施したところ、A型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が確認された旨の報告がありました。
2. 上記について、国立研究開発法人国立環境研究所で遺伝子検査を実施したところ、同年9月29日（木）に高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N1亜型）が検出された旨の報告がありました。
3. 本事例は、今シーズンで一例目の、野鳥における高病原性鳥インフルエンザ確認事例となります。
4. 国内単一箇所では高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたことから、野鳥サーベイランスにおける全国の対応レベルを令和4年9月29日（木）付けで「対応レベル2」に引き上げ、野鳥における監視を強化します。

<詳細は次ページ以降>

内容についての問合せ先
環境省自然環境局野生生物課
鳥獣保護管理室
代 表：03-3581-3351
直 通：03-5521-8285
室 長：東岡 礼治
室長補佐：村上 靖典
専 門 官：庄司 亜香音
担 当：兼松 賢人

■ 詳細情報

| | 回収日 | 場所 | | 検体情報 | | 簡易検査 | | 遺伝子検査 | | 野鳥監視 重点区域 |
|---------|------|------|------|--------------------------------|------|-----------|----|-----------|---------------------------------|--------------|
| | | 都道府県 | 市町村 | 検体の種類 | 種名 | 結果 判明日 | 結果 | 結果 判明日 | 結果 | 指定日 |
| 野鳥国内1例目 | 9/25 | 神奈川県 | 伊勢原市 | 死亡野鳥 (傷病保護 され、その 後死亡) | ハヤブサ | 9/26 | 陽性 | 9/29 | H5N1 亜型 高病原性 鳥インフ ルエンザ | 9/26 |

■ 野鳥サーベイランスの対応レベル引き上げについて

「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」に基づき、野鳥サーベイランスにおける全国の対応レベル※については、本日付けで「対応レベル2」に引き上げ、全国での野鳥における監視やウイルス保有状況調査を強化します。

※対応レベル

| | |
|--------|--|
| 対応レベル1 | 発生のない時（通常時） |
| 対応レベル2 | 国内単一箇所において、国内の野鳥、家きん及び飼養鳥で高病原性鳥インフルエンザの感染が確認された場合（国内単一箇所発生時） |
| 対応レベル3 | 国内単一箇所発生から28日以内に国内の他の箇所において、国内の野鳥、家きん及び飼養鳥で感染が確認された場合（国内複数箇所発生時） |

ただし、近隣国発生情報等により、国内での発生状況にかかわらず、対応レベルを上げることがあります。

■ 留意事項

- （1） 鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥との濃密な接触等があった場合を除いて、人には感染しないと考えられています。日常生活においては、鳥の排泄物等に触れた後には手洗いとうがいをしていただければ、過度に心配する必要はありませんので、周辺地域のみならず国民の皆様におかれては、冷静な行動をお願いします。
- （2） 同じ場所でたくさんの野鳥などが死亡している場合には、お近くの都道府県や市町村役場に御連絡ください。

（参考）

野鳥との接し方について

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/2017yachotonosessikata.pdf

【取材について】

現場周辺での取材は、ウイルスの拡散や感染を防ぐ観点から、厳に慎むようお願いします。

【参考情報】

- ・ 環境省ホームページで高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。
http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/index.html
- ・ 「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」
http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/manual/pref_0809.html

以上